

釣漁業研修会で京都の漁況・海況について講演

2 月 23 日に宮津市で釣漁業者を対象とした研修会が開催され、約 30 名が参加しました。本研修会は、釣漁業の資源管理や有効利用に関する知識を習得し、釣漁業の振興・発展と経営安定に資することを目的としたものです。当センターからは、「京都の海と魚」というテーマで講演を行いました。

過去 100 年間の日本海の温度変化や東シナ海と日本海のつながり、ブリやサワラの生態、近年の府沿岸における魚の獲れ方について説明しました。また、当センターが開発した、若狭湾の流れの情報がスマートフォンなどで簡単に閲覧できる「海況シミュレーション簡易表示ツール」を紹介したところ、多くの釣漁業者からは是非使ってみたいという意見が出るなど、強い関心を持っていただくことができました。

これからも、このような機会を捉えて研究成果の紹介やニーズ収集を行い、漁業者をはじめ府民に役立つ技術開発、研究を進めます。



講演に熱心に聞き入る釣漁業者